

平成 25 年 5 月 15 日  
気 象 庁 予 報 部

## 配信資料に関する技術情報(気象編)第 373 号

～メソ数値予報モデルの計算時間延長について～  
(配信資料に関する技術情報(気象編)第 205 号、第 245 号、  
平成 18 年 9 月 5 日付お知らせ 関連)

メソ数値予報モデル(MSM)のGPVについて、計算時間を延長して配信を開始します。  
配信開始日等は以下のとおりで、配信内容、フォーマットについては既存の配信資料  
から変更はありません。

### 1. 配信開始日及び提供時刻

平成25年5月29日(水)00UTC(日本時間29日9時)初期値の資料から

なお、気象業務支援センターへの送信完了時刻は、すべての資料について、原則と  
して、初期時刻+2時間30分とします。

### 2. 変更内容

現在15時間先まで(00,06,12,18UTC初期値)または33時間先まで(03,09,15,21UTC初  
期値)の計算結果を提供しているところを、39時間先まで(すべての初期値)計算して提  
供します。なお、延長部分のGPVは既存の配信資料とは別のファイルとします。

GPVのファイル名称を別添1に、延長部分の資料の特性を別添2に示します。

メソ数值予報モデルGPV ファイル名

## 地上

| ファイル名   | サイズ  | 予報時間    | 予報時間間隔 | 初期値(UTC)    |             |
|---|------|---------|--------|-------------|-------------|
|   |      |         |        | 03/09/15/21 | 00/06/12/18 |
| Z_C_RJTD_yyyymmddhh0000_MSM_GPV_Rjp_Lsurf_FH00-15_grib2.bin | 64MB | 0h-15h  |        | ○           | ○           |
| Z_C_RJTD_yyyymmddhh0000_MSM_GPV_Rjp_Lsurf_FH16-33_grib2.bin | 73MB | 16h-33h | 1h     | ○           | ◎           |
| Z_C_RJTD_yyyymmddhh0000_MSM_GPV_Rjp_Lsurf_FH34-39_grib2.bin | 24MB | 34h-39h |        | ◎           | ◎           |

## 気圧面

| ファイル名  | サイズ  | 予報時間    | 予報時間間隔 | 初期値(UTC)    |             |
|--|------|---------|--------|-------------|-------------|
|  |      |         |        | 03/09/15/21 | 00/06/12/18 |
| Z_C_RJTD_yyyymmddhh0000_MSM_GPV_Rjp_L-pall_FH00-15_grib2.bin | 51MB | 0h-15h  |        | ○           | ○           |
| Z_C_RJTD_yyyymmddhh0000_MSM_GPV_Rjp_L-pall_FH18-33_grib2.bin | 51MB | 18h-33h | 3h     | ○           | ◎           |
| Z_C_RJTD_yyyymmddhh0000_MSM_GPV_Rjp_L-pall_FH36-39_grib2.bin | 17MB | 36h-39h |        | ◎           | ◎           |

○:現在配信を行なっている資料

◎:今回配信を開始する資料

## メソ数値予報モデルの特性

メソ数値予報モデルの GPV について、平成 25 年 5 月 29 日 (水) 00UTC 初期値の資料から、39 時間先まで計算して配信を開始します。

今回の延長部分を含めた資料について、降水予測精度の特性を以下に示します。値が大きいほど予測精度が高いことを示すエクイタブルスレットスコアは、計算時間とともに低下するものの、これまでに配信してきた計算時間 (15 時間または 33 時間) と比べてその程度に大きな変化は見られません。また、値が 1 に近いほど計算された降水の頻度が観測に近いことを示すバイアススコアは、延長された時間も含めた計算時間全体を通してほぼ一定となっています。

これらのことから、今回の計算時間の延長部分については、従来配信してきた計算時間の資料と比べて予測特性に大きな変化は見られないことがわかります。

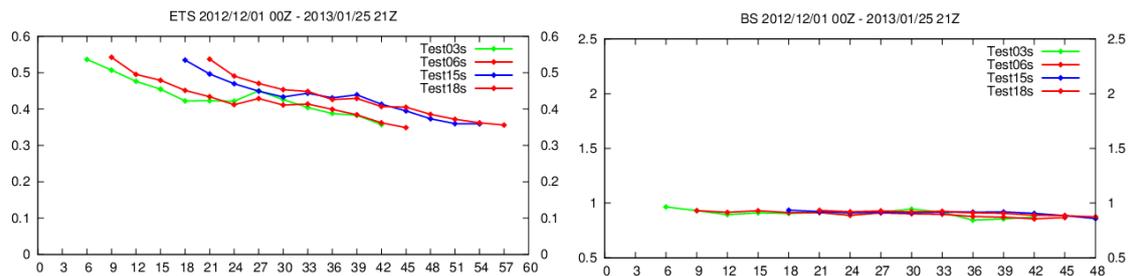


図 1: 2012 年 12 月 1 日 00UTC～2013 年 1 月 25 日 21UTC の期間におけるメソ数値予報モデルの 1mm/3 時間を閾値とする対解析雨量のエクイタブルスレットスコア(左図)及びバイアススコア(右図)。03UTC 初期値(緑色)と 06UTC 初期値(赤色)、及び 15UTC 初期値(青色)と 18UTC 初期値(赤色)の計算結果を比較する形で、それぞれの初期時刻からの各スコアの時間変化を示す。縦軸が各スコアを、横軸が時刻 (UTC) を示す。ここで、検証は 20km 格子の領域で行い、検証格子の中の平均値を対象とした。また、解析雨量の領域のうち陸域と海岸から 40km 以内を検証に用いた。なお、00UTC、09UTC、12UTC、21UTC を初期時刻とするスコアにおいても同様の傾向となることを確認している (図略)。

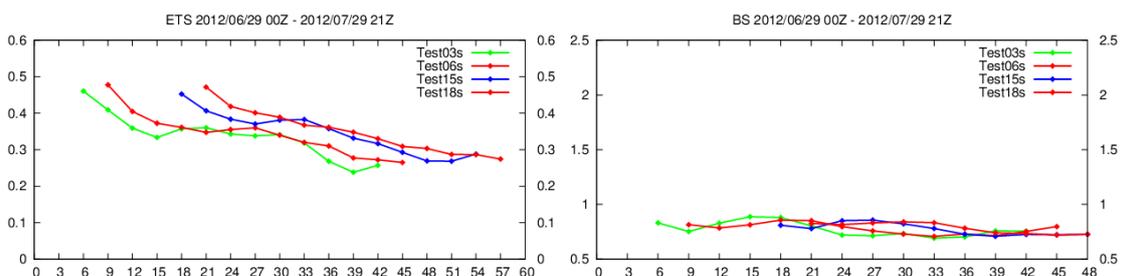


図 2: 図 1 と同じ。ただし、2012 年 6 月 29 日 00UTC～7 月 29 日 21UTC の期間の結果を示す。